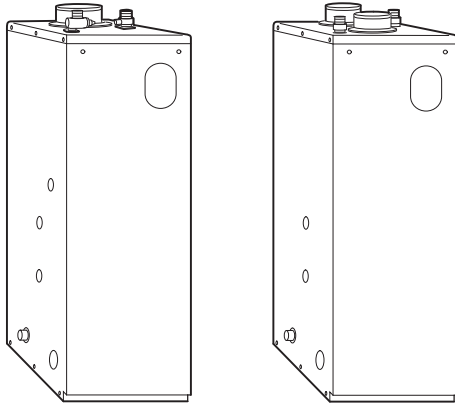




型名 KIB-3832 KIB-3832G KIB-3832F

このたびは長府製品をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用の前に、『所有者票』（製品に添付）を返
送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいた
だき、正しくお使いください。なお、取扱説明
書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりに
ならないことや、不具合が生じたときにお役立
てください。
- 保証書はお買い求めの販売店からお受け取りに
なる際に、必要事項が記入されていることを必
ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失されたときは、お買い求めの
販売店、またはお近くの工場・支店・営業所
にご連絡ください。
- 必ず良質の灯油（JIS1 号灯油）を使用してくだ
さい。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内
容と異なる場合がありますので、あらかじめご
了承ください。

10064973 (DU)

も く じ

ページ

ご使用の前に

特に注意していただきたいこと……	1
各部の名称とはたらき	
外観図……	8
本体構造図……	10
バーナー構造図……	11
台所リモコン……	12
浴室リモコン……	13
使用前の準備……	15

運転のしかた

使用方法	
給湯運転……	19
追いだき運転……	21
ふろ保温運転……	22
凍結予防……	24
運転再開時の注意……	27
安全装置……	28
その他の装置……	29
使用上の注意……	29

上手に使ってね

日常の点検・手入れ	
点検・手入れのときの注意……	30
点検・手入れの必要項目、 時期、方法……	31
定期点検……	33
法定点検……	33

故障かな？

故障・異常の見分けかたと処置方法……	34
部品交換について……	36
別売部品について……	36
仕 様……	37
アフターサービス……	38
据付け……	39

保証書……	巻末
-------	----

特に注意していただきたいこと

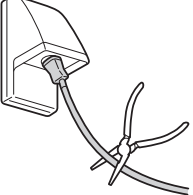
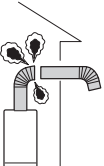
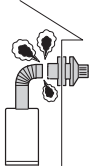
- ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

禁 止		ガソリン厳禁	注 意		高温注意	指 示		電源プラグを抜くこと
		接触禁止			感電注意			アースを接続すること
		分解禁止			一般的な警告・注意			必ず行うこと
		一般的な禁止						

 は参考になるページです。

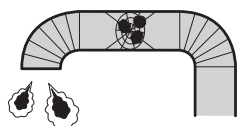
 警告 (WARNING)	
ガソリン厳禁  ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。	電源コードを切断して延長しない   電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。
排気筒はずれ危険 (酸欠事故・火災・過熱の原因) KIB-3832・3832G   排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。	給排気筒(管、ホース)はずれ危険 (酸欠事故・火災・過熱の原因) KIB-3832F   給排気筒(管、ホース)がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

⚠ 警告 (WARNING)

排気筒閉そく危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

KIB-3832・3832G



排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

給排気筒トップ閉そく危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

KIB-3832F



積雪の多い地方などでは、給排気筒トップの周りが雪やツララでふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

使用前に

⚠ 注意 (CAUTION)

高温注意

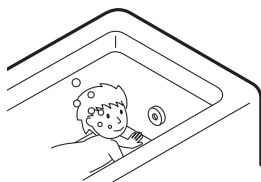


シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。
また、シャワーを使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。
追いだき運転中、追いだき運転終了直後は給湯栓、シャワーから熱いお湯が出ます。
リモコンの運転スイッチを押して「切」にしても機器内部の熱いお湯が出てることがありますので、お湯の温度を確かめて使用してください。



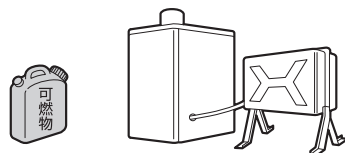
追いだき運転やふろ保温運転をすると循環口のまわりは高温になりますので、注意してください。やけどのおそれがあります。

子どもに注意



循環口付近でもぐらないでください。髪の毛などが吸い込まれて事故やケガをするおそれがあります。
特に小さなお子様には注意してください。

可燃物禁止



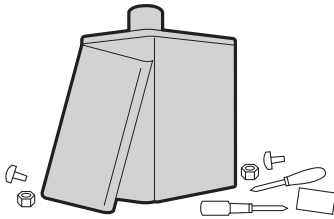
壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。(工事説明書参照)
機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意 (CAUTION)

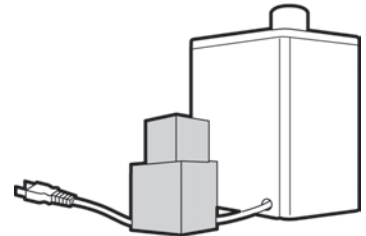
分解修理・改造の禁止

(火災・感電・漏電の原因)



故障や破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

電源コードを傷めない



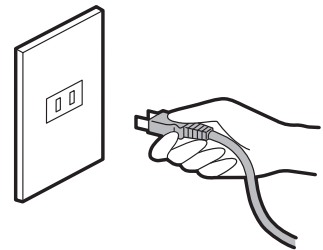
電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

濡れた手危険



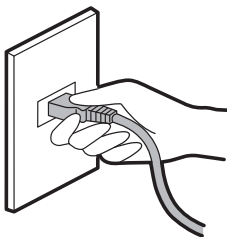
電源プラグを濡れた手で触らないでください。
感電するおそれがあります。

電源プラグを抜いて停止させない



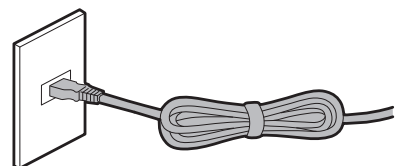
電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や故障の原因になります。
必ずリモコンの運転スイッチを押して「切」にして停止してください。

電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。

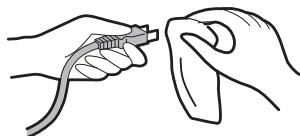
電源コードは束ねたまま使用しない



電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。
火災や発熱の原因になります。

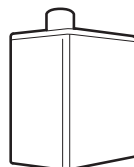
⚠ 注意 (CAUTION)

電源プラグのお手入れをする



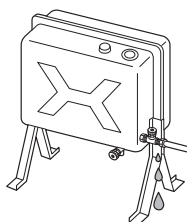
ときどきはリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてから電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。ほこりがたまり湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

純正部品以外は使用しない



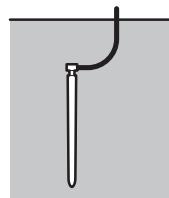
事故防止のため当社純正部品以外は使用しないでください。

油漏れに注意 (火災の原因)



機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。

必ずアースをする



この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

異常・故障時使用禁止 (事故の原因)



油漏れやにおい、ススの発生など異常や故障と思われるときは、使用しないで買い求めの販売店にご連絡ください。

家庭用以外の使用禁止



この機器は家庭用です。家庭用以外には使用しないでください。寿命が短くなったり、故障の原因になったりします。家庭用以外に使用すると、保証の対象外になります。家庭の給湯・シャワー・追いだき以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になります。

安全装置が作動したときは



安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。 **28ページ**

機器内のお湯を排水するときはやけどに注意

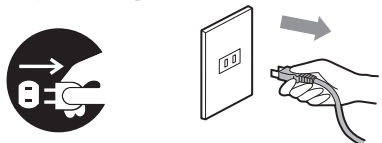


機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意 (CAUTION)

長期間使用しないときは機器内の
水抜きを行い、電源プラグを抜く



長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。
火災や思わぬ事故の原因になります。

26・27ページ

高温部接触禁止

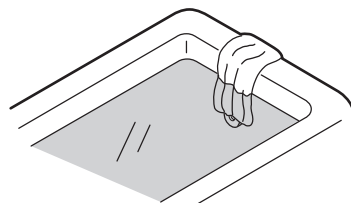


燃焼中や消火直後は、高温部（機器・排気筒・給排気筒）に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。

お願い (NOTICE)

循環口をふさがないで
（故障の原因）

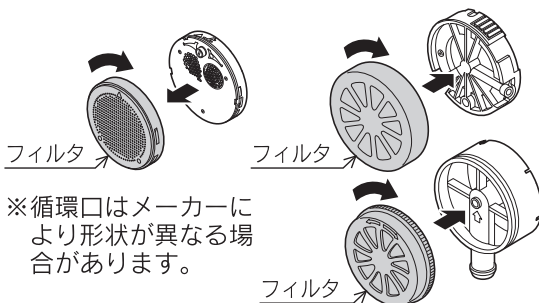
浴そうの循環口は手・足・タオルなどでふさが
ないでください。



循環口フィルタは必ずつける



循環口フィルタをはずして使用しないでください。
循環ポンプに髪の毛やゴミがつまり故障の原因に
なります。



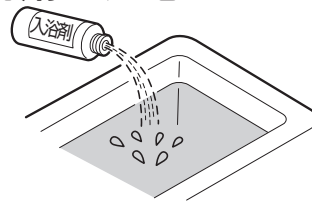
※循環口はメーカーに
より形状が異なる場
合があります。

石けんの使用禁止



浴そう内では石けんやボディーシャンプーを
使用しないでください。次回使用時に泡が出
たり、循環ポンプが故障したりする原因にな
ります。

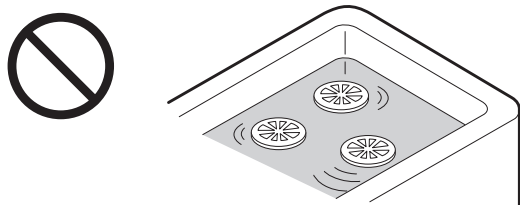
入浴剤・洗剤に注意



温泉水・イオウ・酸・アルカリ・油分を含んだ
入浴剤や洗剤は、熱交換器の腐食や循環ポンプ
が故障する原因になりますので使用しないで
ください。

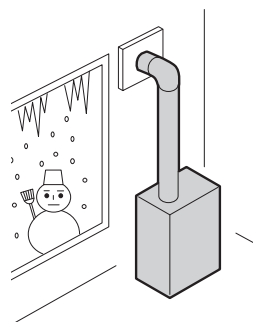
お願い (NOTICE)

循環口フィルタのつまりに注意 (故障の原因)



浴そうにミカンやレモンなどを浮かべて使用しないでください。また、ポプリなどをご使用するときは、袋などに入れてください。

凍結に注意 (故障の原因)



冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので凍結予防の処置を行ってください。

24 ~ 27 ページ

リモコンに水をかけない



リモコンに水をかけないでください。
故障の原因になります。

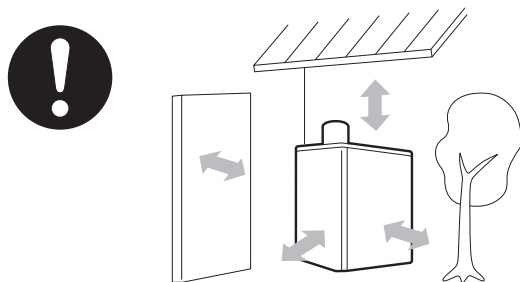
落雷のおそれがあるときの処置



雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかにリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

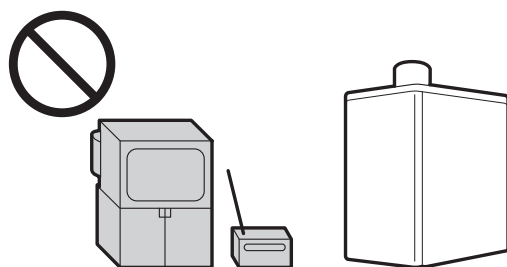
雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込んでください。

サービススペースの確保



機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。前パネル側は必ず60cm以上あけてください。(工事説明書参照)

電気器具の近くに設置しない



テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。
離して設置してください。

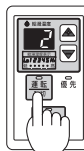
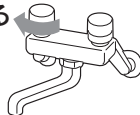
特に注意していただきたいこと

お願い (NOTICE)

断水的时候は

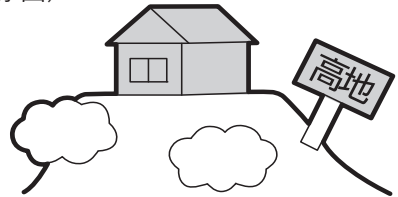


閉める



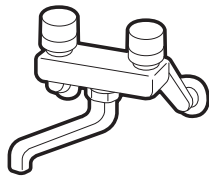
給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてください。
浴そうのお湯(水)が循環口上部から約5cm以上あっても追いき運転はしないでください。故障の原因になります。

高地で使用するときはご相談を… (燃烧不良の原因)

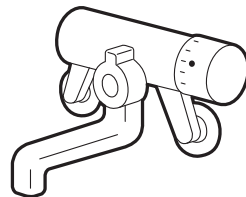


標高 1,000 ~ 1,500m の高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
※標高 1,500m を超える場所では使用できません。

混合水栓について



混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。(出湯量が少なくなる可能性があります。) 水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



やけど防止のためサーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)の使用をおすすめします。リモコンの設定温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より高めに使用してください。

この機器は上水道用です



温泉水は使用しない

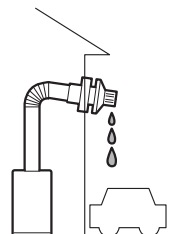
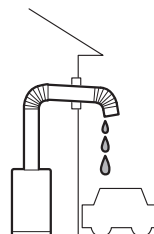
温泉水を使用すると水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

地下水・井戸水使用時の注意

地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する故障修理は保証期間内でも有料となります。

排気筒・給排気筒トップの真下に物を置かない

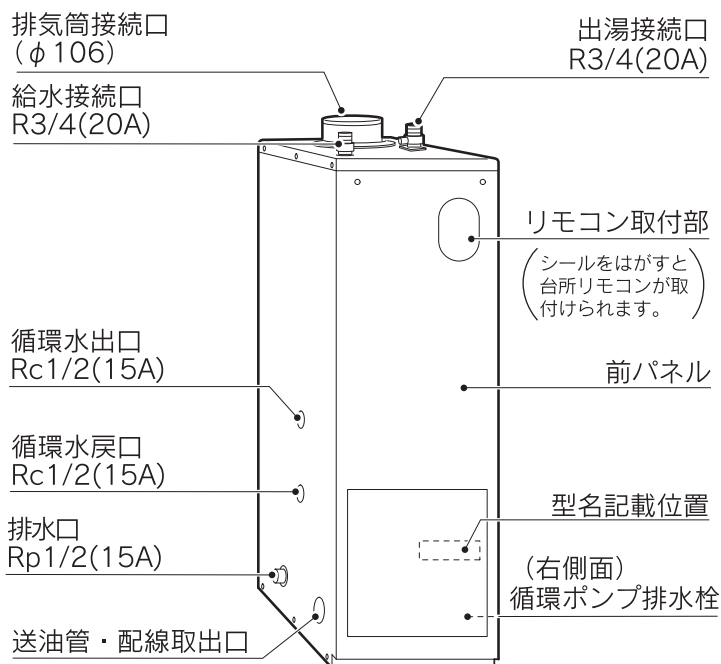
排気筒・給排気筒トップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。
真下に物などを置かないでください。



各部の名称とはたらき

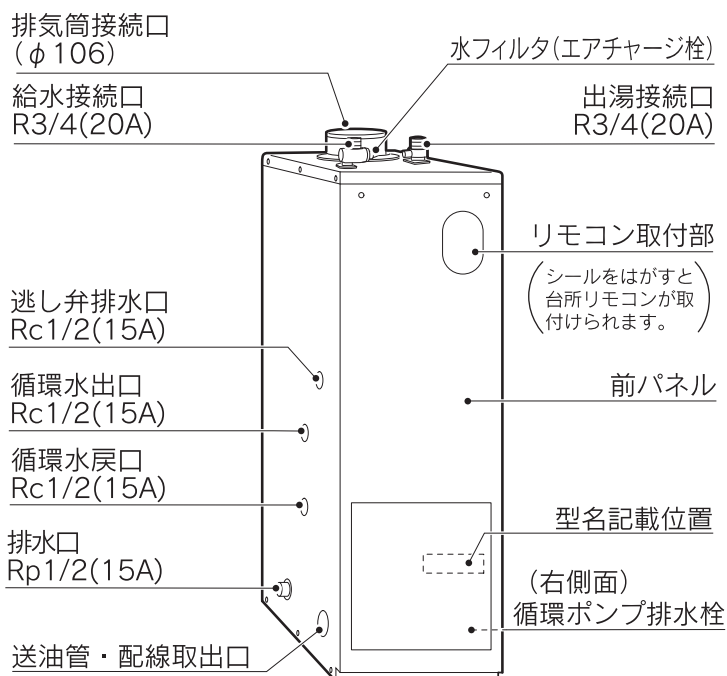
外観図

● KIB-3832



※排水口、循環水出口、循環水戻口、送油管・配線取出口は、左右両側にあります。

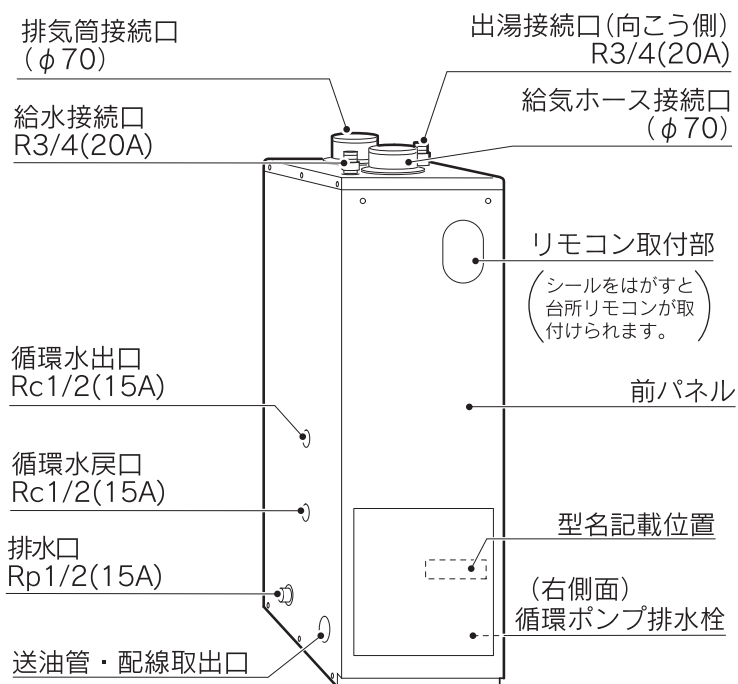
● KIB-3832G



※排水口、逃し弁排水口、循環水出口、循環水戻口、送油管・配線取出口は、左右両側にあります。

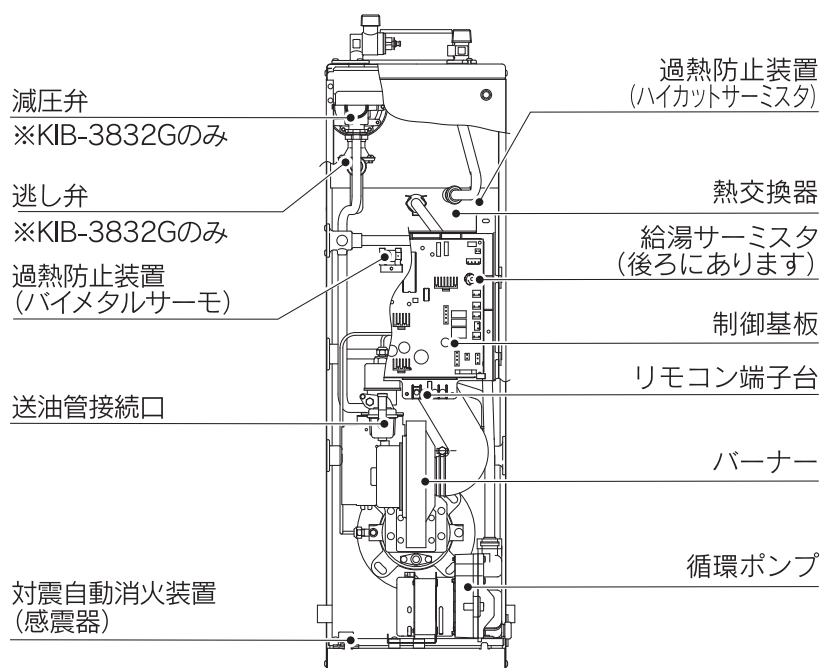
外観図

● KIB-3832F



※排水口、循環水出口、循環水戻口、送油管・配線取出口は、左右両側にあります。

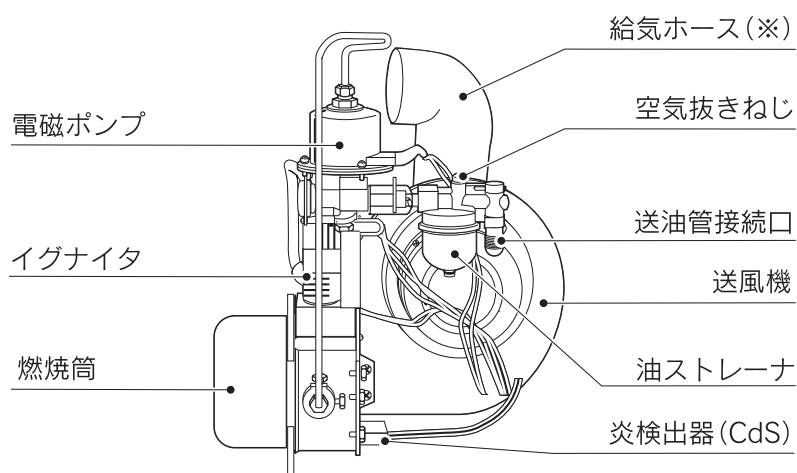
本体構造図



※図はKIB-3832Gで説明しています。

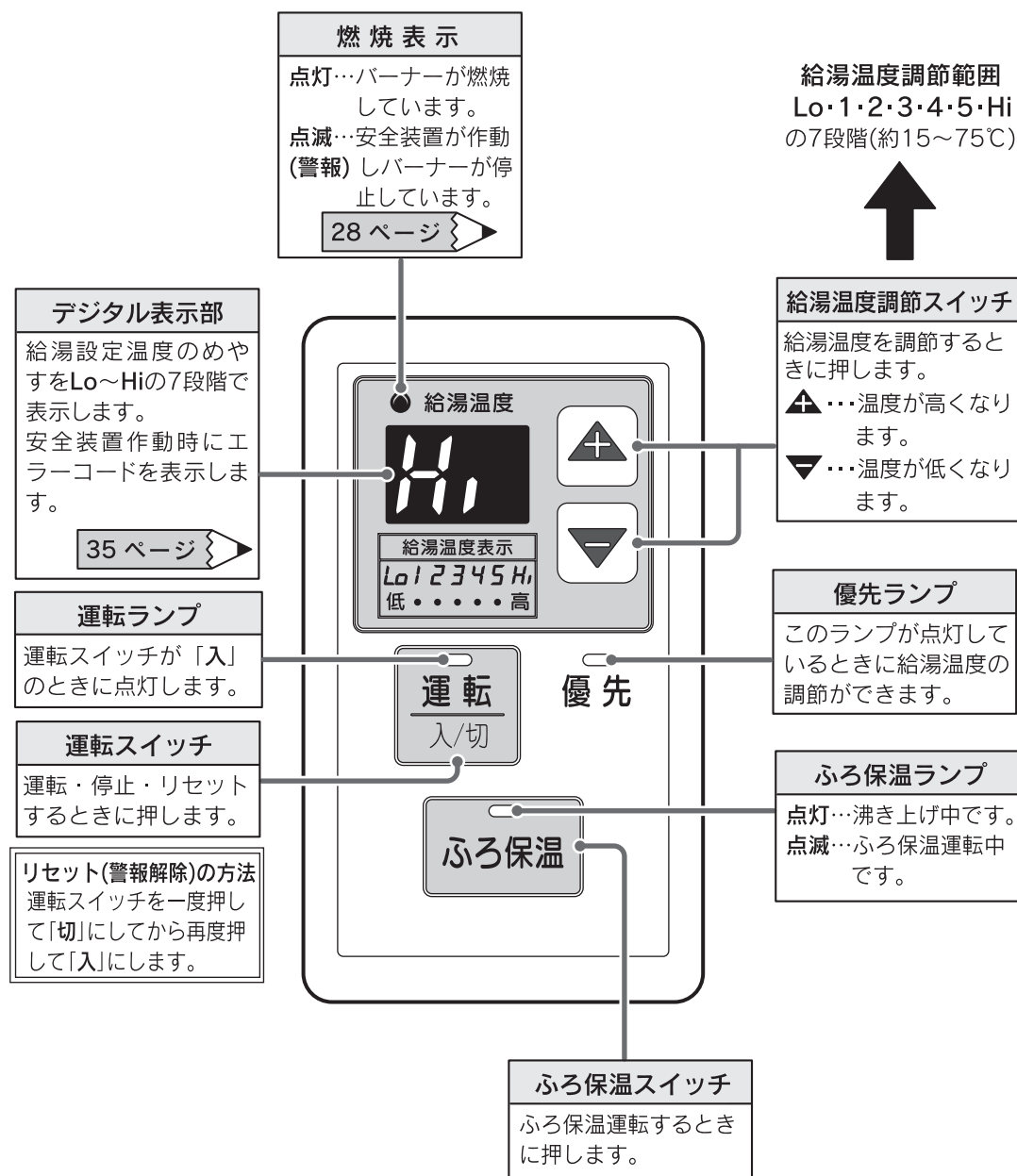
バーナー構造図

● SB-3830

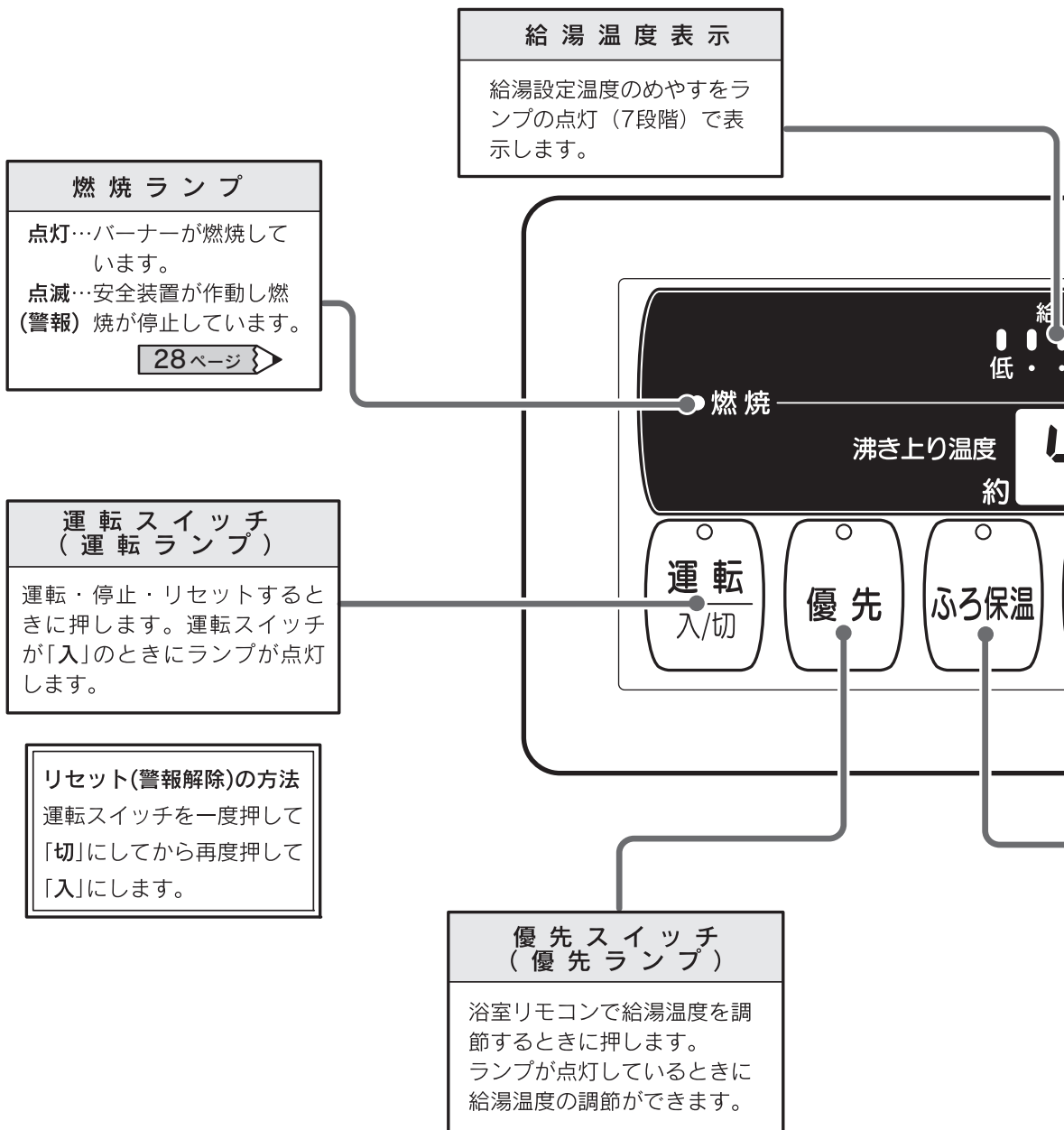


※給気ホースは形状が違います。

台所リモコン (CMR-162)



浴室リモコン (YST-1300)



ふろ温度表示

ふろの設定温度(沸き上がり温度)を表示します。
安全装置作動時にはエラーコードを表示します。

35 ページ

温度調節範囲 (7段階) …約15～75℃

給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。優先ランプが点灯しているときに調節できます。

- ▶ …温度が高くなります。
- ◀ …温度が低くなります。

ふろ温度調節スイッチ

ふろ保温運転、追いだき運転、の温度を調節するときに押します。

- ▶ …温度が高くなります。
- ◀ …温度が低くなります。

温度調節範囲…約35～48℃

1℃ごとに設定できます。

ふろ保温スイッチ (ふろ保温ランプ)

ふろ保温運転するときに押します。

点灯…沸き上げ中です。

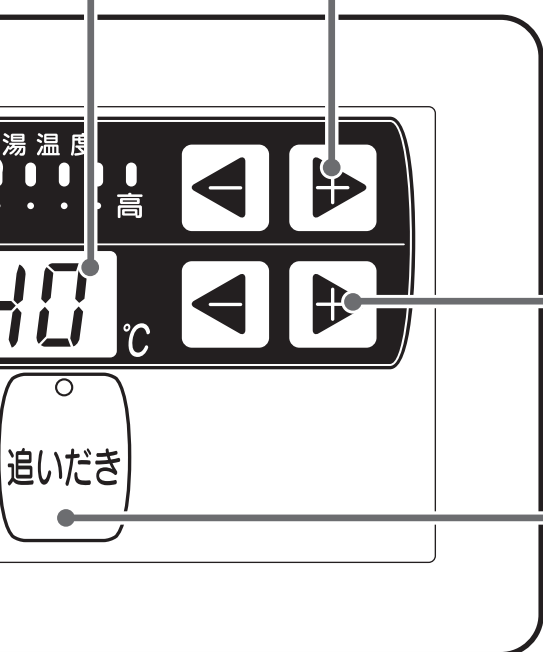
点滅…ふろ保温運転中です。

22 ページ

追いだきスイッチ (追いだきランプ)

追いだきするときに押します。
追いだきスイッチが「入」のときにランプが点灯します。

21 ページ



使用前の準備

燃料

⚠ 警告

- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

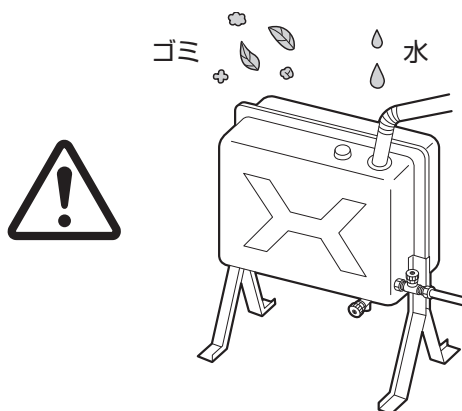
- 燃料は必ず灯油(JIS1 号灯油)を使用してください。



給油

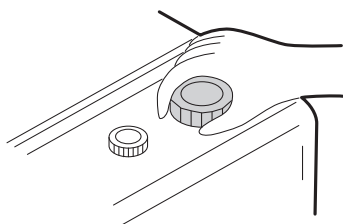
- 給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

1 給油の際の注意

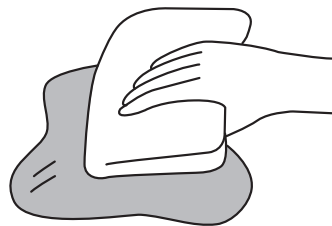


給油の際に水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
水やゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

2 給油口ふたは確実に締める



3 こぼれた灯油はふきとる

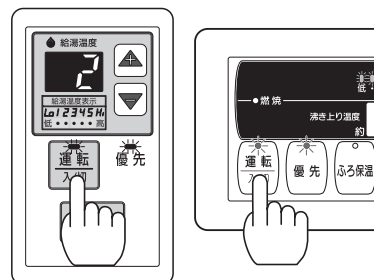


4 燃料切れをしたときは

燃料切れをしたときは警報を表示してお知らせします。油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。(リセットすることにより、送油経路の空気抜きが行われます。) 何度もリセットを繰り返すと危険です。2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「切」にしてから、再度押して「入」にします。



お知らせ

- 燃料切れをしたときは、送油経路の空気が抜けるまで振動音が出たり、点火せずに警報になったりすることがありますが故障ではありません。
- 何度も空運転(電磁ポンプ内に灯油がない状態での運転)をすると、電磁ポンプの寿命が短くなります。

油切れ予告装置(別売部品・OC-3)を取付けたとき

- 灯油がなくなる前に、リモコンにエラーコード「P2」を表示してお知らせします。「P2」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

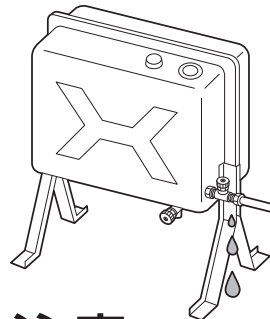
使用前の準備

点火前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認

1. 給水元栓と給湯栓を開け、水が出ることを確認してください。
2. 機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。
3. 浴そうの排水栓は、水漏れのないようにしっかり閉めてください。
4. 追いだき運転やふろ保温運転を行うときは、浴そうの水位を確認してから運転してください。
浴そうの循環口上部から約 5cm 以上給水してください。
※設置後最初に追いだき運転を行う前に、必ず6の循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行ってください。

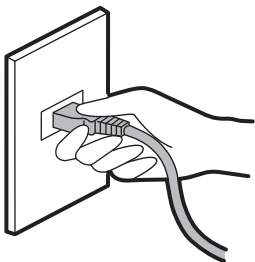
2 送油経路の点検



⚠ 注意

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

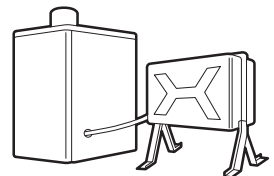
3 電源プラグの確認



⚠ 注意

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

4 周囲の点検



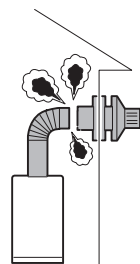
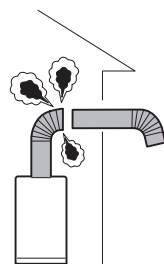
⚠ 注意

機器本体・排気筒・給排気筒・油タンクの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

5 排気筒・給排気筒の確認

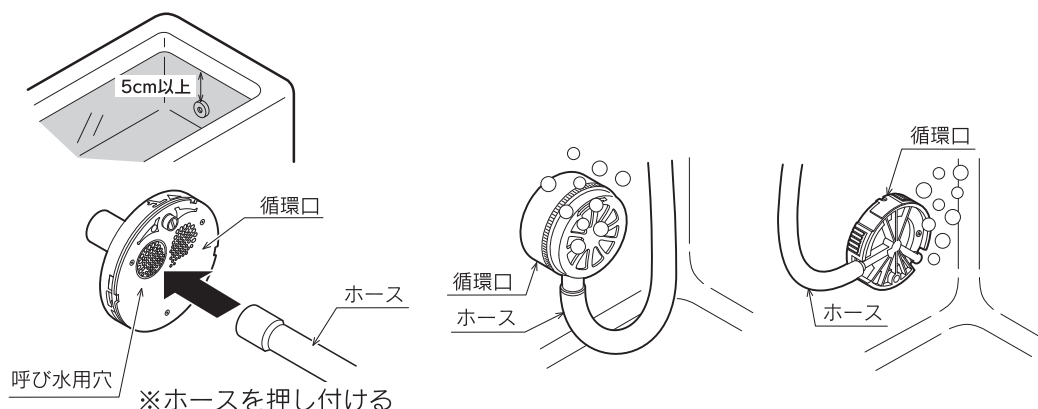
⚠ 警告

排気筒・給排気筒の接続部に緩みやはずれがないこと、またススがついていないことを確認してください。緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



6 循環ポンプの空気抜き(呼び水)

設置後最初に追いだき運転やふろ保温運転をするとき、または循環ポンプ排水栓から排水した後は、必ず循環ポンプの空気抜き(呼び水)を行ってください。

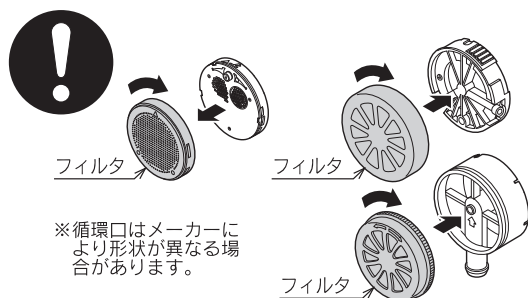


1. 浴そうの循環口上部から約5cm 以上水を入れます。
2. ジャ口と循環口をホースでつないで、給湯栓を開けて給水します。

循環口の種類によって差し込み口が異なりますので、図または循環口付属の説明書を参照してください。

循環口から空気が出なくなれば空気抜き(呼び水)は完了です。

7 循環口フィルタの確認



浴そうに循環口フィルタが取付けられていることを確認してください。

お知らせ

- 一度空気抜き(呼び水)を行うと循環ポンプから水を抜くまで、空気抜き(呼び水)は必要ありません。
- 循環ポンプの空気抜き(呼び水)をしないで追いだき運転や保温運転を行うと、お風呂が沸き上がらなかったり、循環ポンプが故障する原因になります。

使用方法

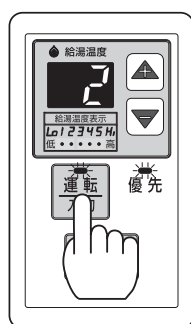
給湯運転（お湯を出します）

⚠ 注意

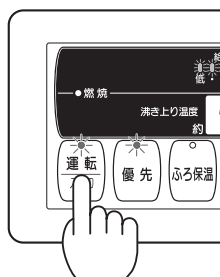
- シャワーを使用しているときは給湯設定温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯設定温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- シャワーを使用するときはリモコンの給湯設定温度を確認し、いきなり体や頭にかけては必ず手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 給湯設定温度をよく確認してから使用してください。高温(Hi・5・4)で使用した後、再度使用するときは特に注意してください。
- 追いだき運転や保温運転中は熱いお湯が出ることがありますので注意してください。
- 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

1 運転スイッチを押して「入」にする

〈台所リモコン〉

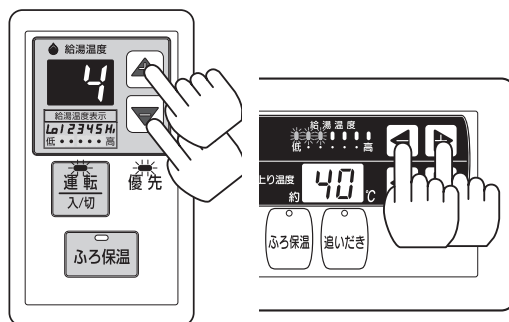


〈浴室リモコン〉



運転ランプが点灯します。
運転スイッチを押したリモコンの優先ランプが点灯します。

2 給湯温度調節スイッチを押す



優先ランプが点灯しているリモコンで温度が調節できます。設定温度はLo～Hi(約15～75℃)の範囲で7段階で調節できます。

お知らせ

- 保温運転中の給湯温度は自動的に設定温度の調節範囲がHi・5・4(約50～75℃)になります。
- 追いだき運転中は給湯設定温度の調節はできません。追いだき運転中は最高温度になりますので、やけどに注意してください。
また大量に給湯すると追いだき能力が低下することがあります。
- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンで給湯設定温度を低い温度に設定すると希望の温度にならないことがあります。このようなときには給湯温度を高い温度に設定してください。
- サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの設定温度を高くするとシャワーの勢が強くなります。

追いだき運転（お風呂を沸かします）

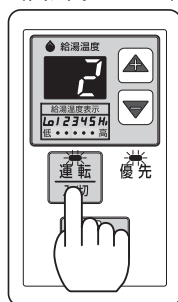


注意

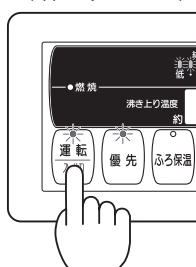
●浴そうのお湯(水)が循環口上部から約5cm以上あることを確認してください。

1 運転スイッチを押して「入」にする

〈台所リモコン〉



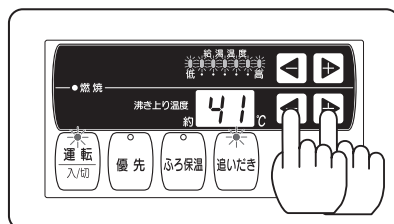
〈浴室リモコン〉



運転ランプが点灯します。

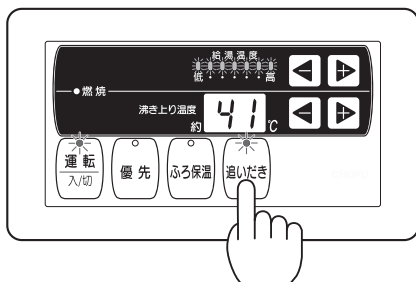
運転スイッチを押したリモコンの優先ランプが点灯します。

2 ふろ温度調節スイッチを押す



ふろ温度は約 35 ～ 48℃ の範囲で調節できます。

3 追いだきスイッチを押す



追いだきランプが点灯します。

4 追いだき運転終了

ふろ温度が設定温度より低いとき

設定温度まで沸き上げて自動的に追いだき運転を終了します。

ふろ温度が設定温度より高いとき

現在のふろ温度 + 約 1℃ まで沸き上げて、自動的に追いだき運転を終了します。

※このときふろ温度が設定温度よりも高くなりますので入浴する際は充分注意してください。(最高約 48℃ まで沸き上げます。)

●途中で追いだき運転をやめたいときは、浴室リモコンの追いだきスイッチを押してください。追いだきランプが消灯し運転が終了します。

お知らせ

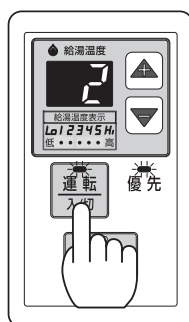
- 追いだき運転中に大量に給湯を行うと、追いだき能力が低下することがあります。
- 断水のときは浴そうのお湯(水)が循環口上部から約 5cm 以上あっても運転はしないてください。

ふろ保温運転

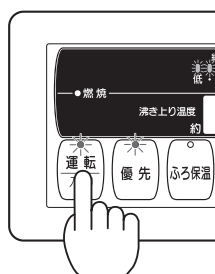
●約20分に一度循環ポンプが作動して浴そう内の温度を検出し、お湯の温度が低いときは沸き上がり設定温度まで沸き上を繰り返し保温します。

1 運転スイッチを押して「入」にする

〈台所リモコン〉

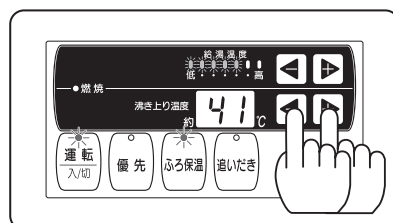


〈浴室リモコン〉



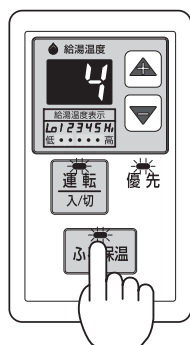
運転ランプが点灯します。
運転スイッチを押したリモコンの優先ランプが点灯します。

2 ふろ温度調節スイッチを押す



ふろ温度は約 35 ～ 48℃の範囲で調節できます。

3 ふろ保温スイッチを押す



ふろ保温ランプが点灯し、ふろを沸き上げます。
(ふろが沸き上がるとブザーでお知らせし、その後ふろ保温運転を行います。保温運転中はランプが点滅します。)

4 保温運転終了

保温開始後、約4時間経過すると自動的に保温運転を終了します。

途中で停止するときは浴室リモコンのふろ保温スイッチ、または運転スイッチを押して「切」にしてください。

お知らせ

●保温中は給湯温度の調節範囲が自動的に約 50 ～ 75℃になります。
ただし、初回沸き上げ中は約 75℃となり給湯温度を調節できません。

給湯量と給湯温度の早見表

- 給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。(給水温度が約 20℃ のとき)
- 給湯量は機器から出湯できる最大能力を記載しています。
- 最大給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により異なります。

給湯使用時

給湯温度(℃)	最大給湯量(L/h)
45	1300
50	1080
60	810
75	590

給湯・追いだき同時使用時

給湯温度(℃)	最大給湯量(L/h)
45	820
50	680
60	510
75	370

凍結予防

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
- ふろ配管の凍結を予防するために、ふろ配管も必ず保温してください。

凍結予防装置による方法(自動)

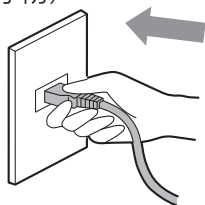
1 電源プラグの確認

(給水経路の凍結予防)



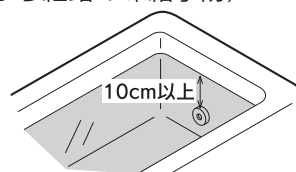
⚠ 注意

電源プラグをコンセントに差し込んでおくことにより、凍結予防ヒータが作動して機器内の給水経路を保温します。



2 浴そうの水位の確保

(ふろ経路の凍結予防)



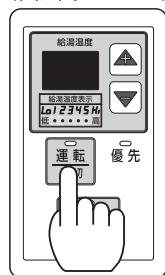
必ず循環口上部から約 10cm 以上給水してください。浴そう内のお湯(水)を循環させ、機器内のふろ経路と配管の凍結を予防します。

- 冷え込みが厳しいときや、風が強いときは凍結予防装置だけでは効果がありませんので、「じゃ口から水を流す方法」、「バーナーを運転させる方法」または「機器内の水を抜く方法」の処置を行ってください。

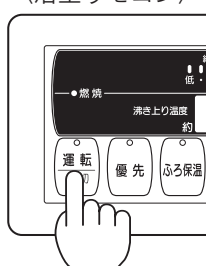
じゃ口から水を流す方法

1 運転スイッチを押して「切」にする

〈台所リモコン〉

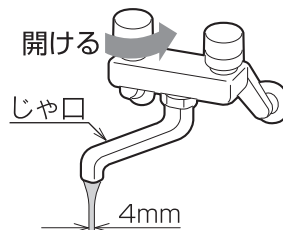


〈浴室リモコン〉



※運転スイッチが「入」のとき

2 給湯栓を開ける



2 ハンドル混合水栓の湯側を開けて、じゃ口から毎分約 400cc (約 4mm) の水を流したままにします。シングルレバー混合水栓をお使いの場合は、レバーを湯側にして開けてください。

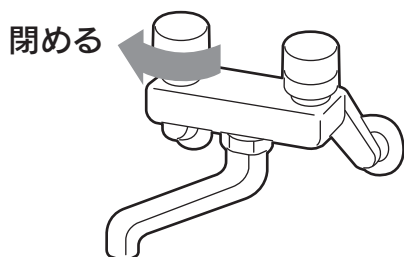
お知らせ

- 機器だけでなく、配管やバルブなどの凍結予防にもなります。
- 流量が不安定なことがありますので、約 30 分後にもう一度確認してください。
- この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので、電源プラグを抜かないでください。

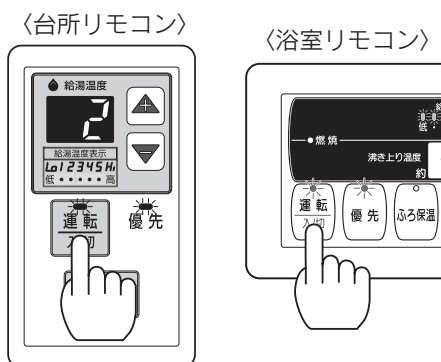
バーナーを運転させる方法

「凍結予防装置による方法」も必ず同時に行ってください。

1 給湯栓を閉める

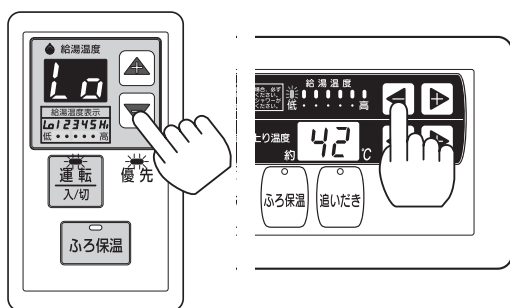


2 運転スイッチを押して「入」にする



運転ランプが点灯します。運転スイッチを押したリモコンの優先ランプが点灯します。

3 給湯温度調節スイッチを押す



給湯温度設定を「Lo」「低」にします。

お知らせ

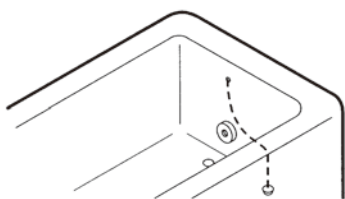
- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- 特に冷え込みが厳しいと予想される日には、給湯温度調節スイッチを一度「Hi」「高」にしてしばらくおき、(数分間)熱交換器内のお湯の温度を上げてから「Lo」「低」にセットしてください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。
凍結したまま運転すると機器を破損するおそれがあります。
- この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので、電源プラグは抜かないでください。

機器内の水を抜く方法（凍結予防装置は作動しません。）

⚠ 注意

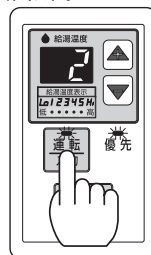
- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。

1 浴そうの水を排水する

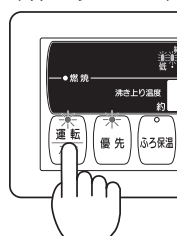


2 運転スイッチを押して「入」にする

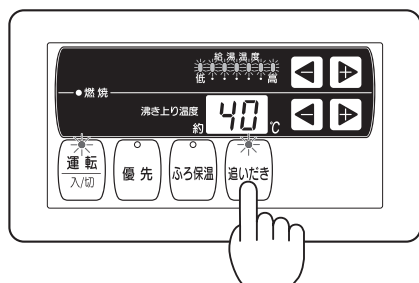
〈台所リモコン〉



〈浴室リモコン〉

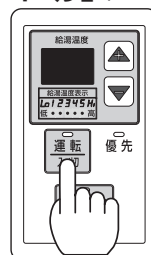


3 追いだきスイッチを押す



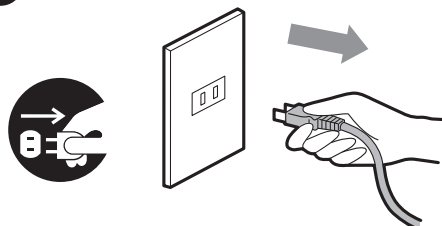
配管内の水を排水します。

4 運転スイッチを押して「切」にする



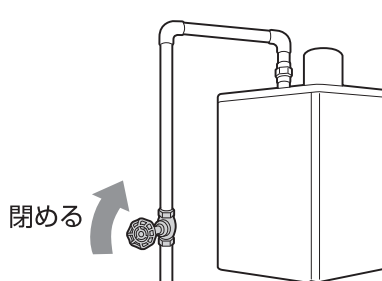
※運転スイッチが「入」のとき循環口から水が出なくなったら、運転スイッチを押して「切」にしてください。

5 電源プラグを抜く



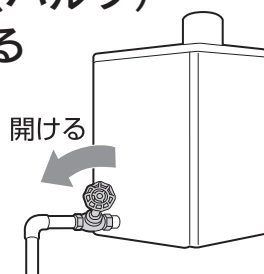
送風機が停止してから電源プラグを抜いてください。

6 給水元栓を閉める

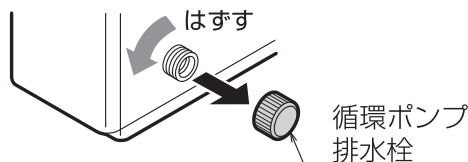


使用方法

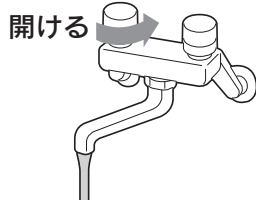
7 排水栓(バルブ)を開ける



8 循環ポンプ排水栓をはずす

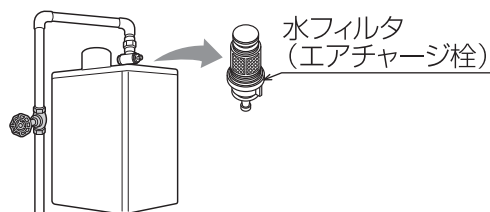


9 給湯栓を開ける



シングルレバー混合水栓をお使いの場合はレバーを湯側にしてお開けてください。

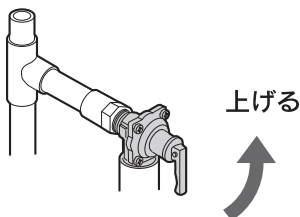
10 水フィルタをはずす KIB-3832G



11 逃し弁のレバーを上げる

KIB-3832・3832F

逃し弁のレバーを上げて、配管内の水を抜いてください。



お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
- はずした循環ポンプ排水栓・水フィルタは、紛失しないように注意してください。

運転再開時の注意

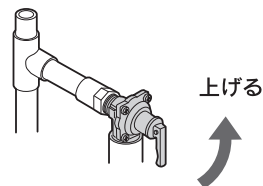
- 機器を運転する前には必ず排水栓を閉め、水フィルタ・循環ポンプ排水栓を元通りに取付け、給水元栓を開けてから水が出ることを確認してください。その後、「使用前の準備」・「使用方法」に従って使用してください。確認せずに運転すると機器が破損することがあります。

17～23ページ

1 逃し弁のレバーを上げる

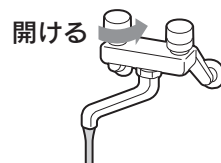
KIB-3832・3832F

逃し弁のレバーを上げて、排水管から水が出てくることを確認してください。確認後はレバーを元にもどしてください。



2 水が出ることを確認

機器からできるだけ離れた1箇所の給湯栓を開けて、水が出てくることを確認してください。水が出にくいときには凍結していることがありますので、水が正常に出ようになってから運転してください。



安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置 (感震器)	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動停止します。	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃 焼 制 御 装 置 (制 御 基 板)	バーナーが着火ミス・失火・異常燃焼したときに作動して自動停止します。	作動原因を処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停 電 安 全 装 置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動停止します。	再通電後は運転停止していますので、再使用時はリモコンの運転スイッチを押して「入」にしてください。
過 熱 防 止 装 置	サーミスタや燃焼制御装置(制御基板)の故障、空だきなどにより熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動停止します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
凍 結 予 防 装 置	機器内の給水経路が凍結しないように凍結予防ヒータが自動的に作動し、保温します。 機器内が約3℃以下になると、浴そう内の水を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を防止します。	凍結のおそれなくなると自動的に切れます。
電 流 ヒ ュ ー ズ (10A)	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動停止します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
送風機 ヒ ュ ー ズ (3A)	送風機ヒューズが切れたときはエラーコードを表示してお知らせします。	
油 切 れ 予 告 装 置 (別売部品)	油タンク内の灯油の残量が少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。	エラーコードを表示しても機器はしばらく運転を継続しますが、すみやかに給油してください。

使用上の注意

⚠ 注意

排気筒・給排気筒に注意

- 燃焼中や消火直後の排気筒・給排気筒は高温です。手など触れないように注意してください。やけどのおそれがあります。

高温注意

- シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても機器内の熱いお湯が出ることがありますので、お湯の温度を確かめてください。

安全装置が作動したときは

- 安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

機器内のお湯(水)について

- 機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、使用水の水質・配管材料の劣化・水あかなどにより水質が変わることがあります。飲用または調理には使用しないでください。

油切れに注意

- 油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。  16ページ
- 別売の油切れ予告装置を取付けると、リモコンで給油のタイミングをお知らせします。

日常の点検・手入れを行う 30～32ページ

入浴剤・洗剤に注意

- 温泉水・イオウ・酸・アルカリ・油分を含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器の腐食や循環ポンプが故障する原因になりますので使用しないでください。

浴そうの水位が上昇するときは

- 浴そうの水位が上昇するときは、すぐに給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡して点検または修理を受けてください。

停電後の使用方法

- 停電すると運転スイッチは「切」になります。一度電源が切れると再通電後は運転を行いません。
リモコンの運転スイッチを押し、「入」にして使用してください。
停電中は給湯栓を閉めてください。
停電復帰後は設定温度を記憶しています。

長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは凍結予防の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。

地震などの被害があったとき

 26・27ページ

- リモコンの運転スイッチを押して「切」にし、電源プラグを抜いて使用を中止してください。
機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

冬期に停電したとき

- 凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」に従って凍結予防を行ってください。

 24・26・27ページ

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

注意

- 点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 点検・手入れのときは金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解や調整は絶対にしないでください。
- 異常があるときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

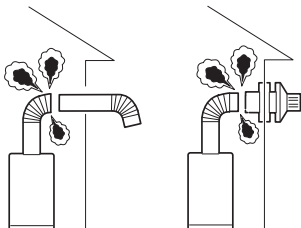
点検・手入れの必要項目、時期、方法 毎日

排気筒や給排気筒の接続部の緩み およびトップの周囲



警告

排気筒およびトップ・給排気筒に緩みがないこと、周囲に可燃物がないこと、またススがついていないことを確認してください。
緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

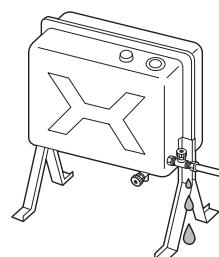


油漏れ、油のたまり、 油のにじみ



注意

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

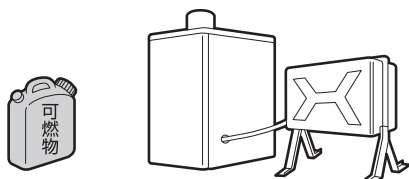


周囲の可燃物



注意

機器や排気筒・給排気筒および油タンクの周囲に可燃物や、危険物がないことを確認してください。



循環口フィルタの掃除



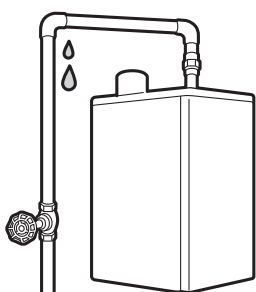
浴そうを掃除するときは、循環口フィルタもはずして掃除してください。

適時に

水漏れ



機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。



リモコン



水や化学そうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。
印刷や塗装がはがれ、傷の原因となります。

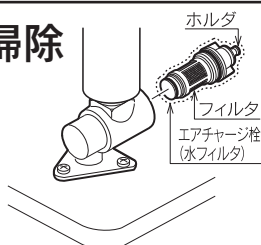
1年に1回以上

油タンク

油タンク内に空気中の水分が結露して水がたまりますので、タンクのドレン栓を開けて抜きとってください。ドレン栓の形状はタンクによって異なります。

水フィルタの掃除

KIB-3832G



※フィルタはホルダからはずさないでください。

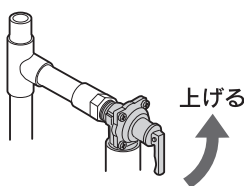
配管内のゴミが水フィルタにたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。

1. 給水元栓を閉め、水フィルタをはずします。
2. 水フィルタのホルダに付いているフィルタを掃除します。
フィルタを変形させないようにしてください。
3. 掃除後は水フィルタを取付け、給水元栓を開けた後、給湯栓を開け、配管内の空気を抜いてください。

逃し弁の確認

KIB-3832・3832F

逃し弁のレバーを上げて、排水管から水が出てくることを確認してください。



油ストレーナの点検

油ストレーナに水やゴミがたまっていないかお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

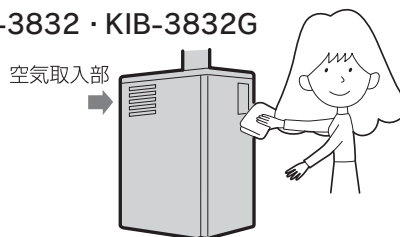
ゴム製送油管の点検・交換のめやす

ゴム製送油管を点検し、傷・ひび割れ・劣化があるときはお買い求めの販売店に交換を依頼してください。

ゴム製送油管は傷・ひび割れ・劣化がなくても3年に1回程度は交換してください。

ほこり

KIB-3832・KIB-3832G



機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。手袋などをしてください。

特に機器側面の空気取入部にたまったほこりをふきとってください。

給湯熱交換器の掃除

給湯熱交換器に湯あかがたまると熱交換が悪くなりますので、次の要領で掃除を行ってください。

1. 電源プラグを抜きます。
2. 給水元栓を閉めます。
3. 機器の排水栓と給湯栓を開け、熱交換器内の水を排水します。
4. 排水したら給水元栓を開け、きれいな水が出てきたら排水栓と給湯栓を閉めます。

ふろ熱交換器の掃除

ふろ熱交換器に湯あかがたまると熱交換が悪くなりますので、次の要領で掃除を行ってください。

1. 浴そうにお湯(水)を入れたまま(循環口上部から約10cm以上)、浴そう掃除用中性洗剤を適量入れます。
2. 浴室リモコンの運転スイッチと追いだきスイッチを押して「入」にして、追いだき運転を行います。
3. 追いだき運転が終わったら浴そうのお湯(水)を抜き、泡が出なくなるまで何度かお湯(水)を入れ換えて、追いだき運転を繰り返してください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です)

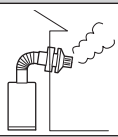
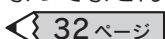
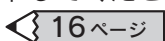
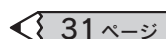
法定点検

- この機器は、消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

修理を依頼する前に

- 次のような場合は故障ではありません。
修理を依頼する前にもう一度確認してください。

現 象	説 明
排気筒・給排気筒から白煙や湯気が出る	排ガスが水蒸気を含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。 
お湯が白く見える	水中に溶けていた空気が分離して白く見えたり、小さな泡となって出てきたりするためです。
給湯温度・給湯量が不安定になる	他の混合水栓を同時に使用するとお湯が熱くなったり、ぬるくなったり、給湯量が少なくなったりすることがあります。水道の圧力や配管条件によっては給湯量が変わることがあります。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出ない	機器から混合水栓までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
お湯の出が悪くなった	水フィルタや給湯栓のフィルタにゴミなどがつまってませんか。掃除してください。KIB-3832G 
燃料切れをした後、給油しても火がつかない	燃料切れをした後、給油したときは送油経路の空気抜きを行わないと火がつかません。 油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。 
追いだき運転やふろ保温運転時に点火・消火を繰り返す	設定温度になると運転を停止し、温度が下がると運転を行うためです。
リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	燃焼室内の排ガスを排出するためです。
停電後、操作部やリモコンの表示が出ない	リモコンの運転スイッチを押して「入」にすると表示が出ます。
調節スイッチを押しても給湯温度が変わらない	リモコンの優先ランプが点灯していないと給湯温度の調節ができません。
逃し弁の排水管からお湯(水)が出る	熱交換器内の圧力が上がりすぎないように、上昇した圧力を逃がすためです。
おふろの循環が悪い	循環口フィルタにゴミがつまってませんか。清掃してください。 
寒いときに循環ポンプが作動する	機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防するために、機器内が約3℃以下になると凍結予防装置により、循環ポンプが運転することがあります。
リモコンの表面が熱く感じる	使用中は表示部などが点灯していますので、リモコンの表面が熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチが「切」になっていても、電子回路が作動しているので発熱があります。

エラーコード一覧

- エラーコードをリモコンの表示部に表示します。
- エラーコードが表示されたときは以下の処置を行ってください。
- 確認・処置後リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

エラーコード	説 明	確 認 ・ 処 置
E1	着火ミス	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。何度もリセットを繰り返すと危険です。2、3回リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。
E2	炎検出器異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E3	途中失火	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。何度もリセットを繰り返すと危険です。2、3回リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。
E4	過熱防止装置作動 (パイメタルサーモ作動)	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタ異常	
E6	制御基板(記憶回路)異常	電源プラグを差し直してください。
E7	送風機異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E9	外気温サーミスタ異常	
F5	ふろサーミスタ異常	
F9	凍結予防サーミスタ異常	
HC	過熱防止装置作動 (ハイカットサーミスタ作動)	
H7	ハイカットサーミスタ異常	油タンクに給油してください。
P2	油切れ予告装置作動 〔OC-3(別売部品)取付時〕	
P3	対震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認してリセットしてください。
74 75 76	通信異常	電源プラグを差し直してください

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

⚠ 注意 KIB-3832F

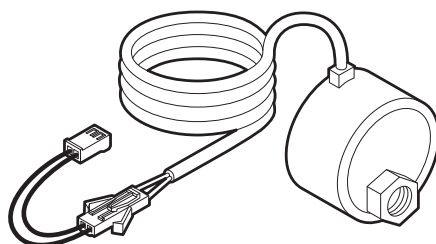
- 給排気筒のOリングは右のものを使用しています。

種 類	4 種 D(フッ素ゴム) (JIS B2401)
呼 び	P70

別売部品について

油切れ予告装置 (OC-3)

- この機器には油切れ予告装置を取付けることができます。
取付けはお買い求めの販売店にご相談ください。



仕 様

型 名		KIB-3832		KIB-3832G	KIB-3832F	
型 式 の 呼 び		KIB-383				
種 類	圧力噴霧式・貯湯式急速加熱形、1 缶 2 水路式、強制循環式					
	水道直結式・シスターン式		水道直結式	水道直結式・シスターン式		
	屋内用半密閉式強制排気形			屋内用密閉式強制給排気形		
点 火 方 式		高圧放電式				
使 用 燃 料		灯油 (JIS1 号灯油)				
燃 料 消 費 量	給湯側	43.2kW (4.20L/h)				
発 熱 量	ふろ側	57,800 kJ/h (13,800 kcal/h)				
湯 沸 効 率	ふろ側	74.5%				
連続給湯効率	給湯側	87.5%				
連続給湯出力	給湯側	37.8kW (32,500kcal/h)				
熱交換器容量	給湯側	11.3L				
	ふろ側	1.2L				
使用圧力(最高使用圧力)		0.1MPa (1kgf/cm ²)				
伝 熱 面 積	給湯側	0.91m ²				
外 形 寸 法		高さ 866mm, 幅 256mm , 奥行 514mm				
質 量		31kg	33kg	31kg		
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz				
定 格 消 費 電 力	給湯使用	点火時	95/95W			
		燃焼時	75/75W			
	ふ ろ 使 用		79/90W			
		給湯・ふろ 同時使用	点火時	185/215W		
			燃焼時	160/195W		
待 機 時 消 費 電 力		2.6W				
排 気 筒 の 呼 び 径		106		－		
給排気筒の型式の呼び		－		FF-70-091またはFF-70-092		
給 排 気 筒 呼 び 径		－		D70		
給排気筒の壁貫通部の孔径		－		φ 120mm		
排 気 温 度		260℃以下				
騒 音 レ ベ ル		48dB(A)(室内)		47dB(A)(室内)		
ノズル	噴 霧 量	1.2GPH				
	スプレーパターン	ダンフォス社のKHCパターン				
	噴 霧 角 度	60°				
循 環 管 取 付 口 径		Rc1/2(15A メネジ)				
基 準 浴 そ う		有効水量 200 ～ 300L (最大400Lまで)				
電 流 ヒ ュ ー ズ		10A				
送 風 機 ヒ ュ ー ズ		3A				
安 全 装 置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置				
そ の 他 の 装 置		凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置(別売部品)				
付 属 品	アミ付エルボトップ・排気消音筒		給排気筒一式(別梱包)			
	プラグ(1/2)3 個	プラグ(1/2)4 個	プラグ(1/2)3 個			
	台所リモコン式(本体接続用リモコンコード付)・浴室リモコン式・ゴム製送油管・送油管接続パイプ・取扱説明書(保証書)・工事説明書・所有者票袋					
別 売 部 品		リモコンコード・油切れ予告装置・ふろ配管部品				
バ ー ナ ー 型 名		SB-3830				
区分名 (省エネ法)		B				
エネルギー消費効率		87.5%				

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に 34・35 ページ「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、もう一度確認してください。不具合があるときはお客様ご自身で修理せず、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……強制追焚付石油給湯器

2. 型 名……機器の前パネルに貼ってあるシールに記載されています。

KIB-3832 ・ KIB-3832G ・ KIB-3832F

8・9ページ

3. お買い上げ年月日

4. 故障の状況……できるだけ詳しく

5. ご住所、お名前、電話番号

6. 訪問ご希望日

保証・修理について

この石油給湯器には「保証書」がついています(巻末)

- 正常な使用状態において故障した場合は、保証書の規定に従って修理いたします。
お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 家庭用の給湯・ふろ以外の特殊な使用方法での不具合につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結やスケール(石灰づまり)による故障は、保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品について

補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後 11 年です

- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準などの法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選択してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが完了しましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通り据付けられていることを確認してください。

試運転

(試運転はお買い求めの販売店または据付業者と一緒に必ず行ってください。)

運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
1. 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
2. 油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
3. 送油管が逆U字型になっていませんか。	
4. 給水元栓を開け、給湯栓を開けると水が出ますか。	
5. 機器や配管から水漏れはありませんか。	
6. リモコンは確実に接続されていますか。	
7. 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	

運転

給湯運転

1. 運転開始手順
リモコンの運転スイッチを押して「入」にしてください。運転ランプが点灯します。優先ランプの点灯したリモコンの給湯温度調節スイッチで希望の温度に調節し給湯栓を開けてください。
2. 初期運転時の異常現象
運転開始時に電磁ポンプから「ピーピー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、燃焼を始めます。
3. 正常燃焼のめやす
給湯温度の調節ができること、排気筒、給排気筒からススや煙が出ていないこと、また異音がないことを確認してください。
4. 停止
リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてください。運転ランプが消灯します。

故障かな？

追いだき運転

追いだき運転を行う前に、循環ポンプの空気抜き(呼び水)を必ず行ってください。

18ページ

1. 運転開始手順

給湯栓を開けて水が出ること、循環口上部から約5cm以上あることを確認してください。

リモコンの追いだきスイッチを押してください。

運転ランプ、追いだきランプが点灯します。燃焼中は燃焼表示(燃焼ランプ)が点灯します。

2. 初期運転時の異常現象

最初に追いだきを行うときは、循環するまで時間がかかることがあります。

18ページ

循環しないときは循環ポンプの給水を行ってください。

3. 正常運転のめやす

リモコンの追いだきランプが点灯し、循環ポンプが作動していることを確認してください。

4. 停止

リモコンの追いだきスイッチを押して「切」にしてください。

燃焼表示(燃焼ランプ)、追いだきランプが消灯します。

その後リモコンの運転スイッチを押して「切」にします

お知らせ

●試運転時は内部の防錆油が燃える(気化する)ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。

●リモコンの表示部にエラーコードが表示されてバーナーが停止したときは、エラーコードを参照して確認・処置してください。

35ページ

長府強制追焚付石油給湯器保証書(販売店様控)

型 名	KIB-3832・KIB-3832G・KIB-3832F
★製造番号	No.
保証期間	1 年

★お買い上げ日	年 月 日
★お 客 様	ご住所 _____
	お名前 _____ 様
	電話 ()
★販 売 店	住所・店名 _____
	電話 () (印)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1) 本保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、本保証書は切り取り線より切り取り保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2) 本保証書に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府強制追焚付石油給湯器保証書(お客様控)

型 名	KIB-3832・KIB-3832G・KIB-3832F
★製造番号	No.
保証期間	1 年

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より向こう一年間、本書記載内容に従って、無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

★お買い上げ日	年 月 日
★お客様	ご住所
	お名前 様
	電話 ()
★販売店	住所・店名
	電話 ()

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理いたします。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で、本保証書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏面記載の最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合は有料修理となります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用されたことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 犬・猫・ねずみ・昆虫等の動物の行為、及び植物の侵入に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆等異物流入に起因する不具合
- (12) 温泉水を給水したことに起因する不具合
- (13) 地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合
- (14) 公害による不具合
- (15) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (16) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏面記載の最寄りの工場・支店・営業所にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

おぼえがき

お買い上げ日	年	月	日
販 売 店 名			
	電話番号		

●記入しておくで修理などの依頼のときに便利です。

愛情点検 	長年ご使用の石油給湯器の点検を！		
	<table border="1"> <tr> <td> こんな症状は ありませんか？ ●油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。 </td> <td>➡</td> <td> ご使用中止 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。 </td> </tr> </table>	こんな症状は ありませんか？ ●油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。	➡
こんな症状は ありませんか？ ●油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。	➡	ご使用中止 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。	

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



●本社 ————— 山 口 県 下 関 市 長 府 扇 町 2 - 1

●お問い合わせ先 —————

本 社 ・ 営 業 部	〒752-8555	下 関 市 長 府 扇 町 2 - 1	☎(083)248-1111 FAX(083)248-1906
北海道販売センター	〒003-0809	札幌市白石区菊水九条2-3-1	☎(011)813-2210
盛 岡 営 業 所	〒020-0122	盛 岡 市 み た け 5 - 1 5 - 5 0	☎(019)641-0811
仙 台 営 業 所	〒980-0012	仙 台 市 青 葉 区 錦 町 1 - 4 - 6	☎(022)264-0311
宇都宮工場・営業部	〒321-3231	宇都宮市清原工業団地30番	☎(028)667-6111
大 宮 営 業 所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4-16-30	☎(048)653-8111
東 京 支 店	〒160-0022	新 宿 区 新 宿 5 - 1 4 - 6	☎(03)5369-3511
横 浜 営 業 所	〒224-0003	横浜市都筑区中川中央1-36-21	☎(045)912-3111
千 葉 営 業 所	〒261-0001	千葉市美浜区幸町2-24-32	☎(043)248-4111
名 古 屋 営 業 所	〒465-0095	名古屋市長東区高社1-72-1	☎(052)779-2111
金 沢 営 業 所	〒921-8550	金 沢 市 玉 鉾 4 - 1 7	☎(076)292-3111
滋 賀 工 場 ・ 営 業 部	〒520-2394	野 洲 市 野 洲 1 4 7 3 - 1	☎(077)588-4111
大 阪 支 店	〒564-0053	吹 田 市 江 の 木 町 1 8 - 2 7	☎(06)6338-7111
香 川 営 業 所	〒764-8510	仲多度郡多度津町東港町7-8	☎(0877)33-2311
岡 山 営 業 所	〒700-0976	岡 山 市 北 区 辰 巳 3 - 1 1 1	☎(086)245-1111
広 島 営 業 所	〒732-0811	広 島 市 南 区 段 原 1 - 1 - 1	☎(082)261-5111
福 岡 営 業 所	〒812-0063	福 岡 市 東 区 原 田 4 - 2 - 7	☎(092)629-5111
沖 縄 営 業 所	〒901-2101	浦 添 市 西 原 3 - 1 8 - 1 0	☎(098)877-3111